

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	東海支部	(2)記載者氏名:	堀 文昭	会員番号:	13301	事務局整理記入欄	東海-13
分水嶺区分	W018スキー場の頭~W019境峠	(3)山行日:	2004年	11月	9日	(4)天候:	快晴

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

堀 文昭	13301			鈴木茂三	12191		
堀江召浩	12797						
伊藤 武	13962						
		計	3名			計	1名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	小鉢盛山から南へ境峠へ至る稜線の南半、スキー場付近を除き倒木とササに埋っている												
アプローチ:	名古屋方面~藪原~境峠~野麦峠スキー場												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	スキー場	寄合渡							1,680		9:05		
分水嶺到達点W018	スキー場の頭	寄合渡							2,123	10:05	10:20	A-2	
	中間地点	寄合渡							1,720	11:45	12:10	B-3	
	送電線	寄合渡							1,575	13:00	13:15	B-3	
分水嶺離別点W019	境峠	寄合渡							1,486	13:55		B-3	
歩行終了点	同上	寄合渡											
総歩行時間(休憩時間を除く):												3時間45分	

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
					分水嶺上には三角点なし

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

W018地点の150m南東にマイクロ波中継局舎と思われる建屋があったが最近撤去された(地形図には元々ない)
スキー場(その名称:野麦峠スキー場には異論がある)のゲレンデ及び管理道路が約700mに亘り分水嶺と接している
スキーリフトは地形図より多く、W018地点まで延びている
送電鉄塔2基は地形図どおり、峠近くに鹿除けフェンスあり

(9)水および植生に関連した特記事項

シラビソ、タケカンバ、カラマツなど、林床のササは何処も一様に濃く、ケモノ道すらない

(10)その他の特記事項

世界測地系の座標を記した地形図「寄合渡」はまだ発行されていないから測定値を検証できないため、経緯度は記入しなかった。
境峠: 古代、美濃と信濃の境であった。東海支部分担の範囲内で唯一冬季の交通が確保されている分水嶺越えである。 県道26号線が通り、かつては東海関西方面から上高地への最短ルートとして活用されたが、交通体系の変遷とともにその役割はうすれた。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: 倒木とササの稜線

山行報告書(続き)

表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。



倒木とササの稜線